

CLASS1

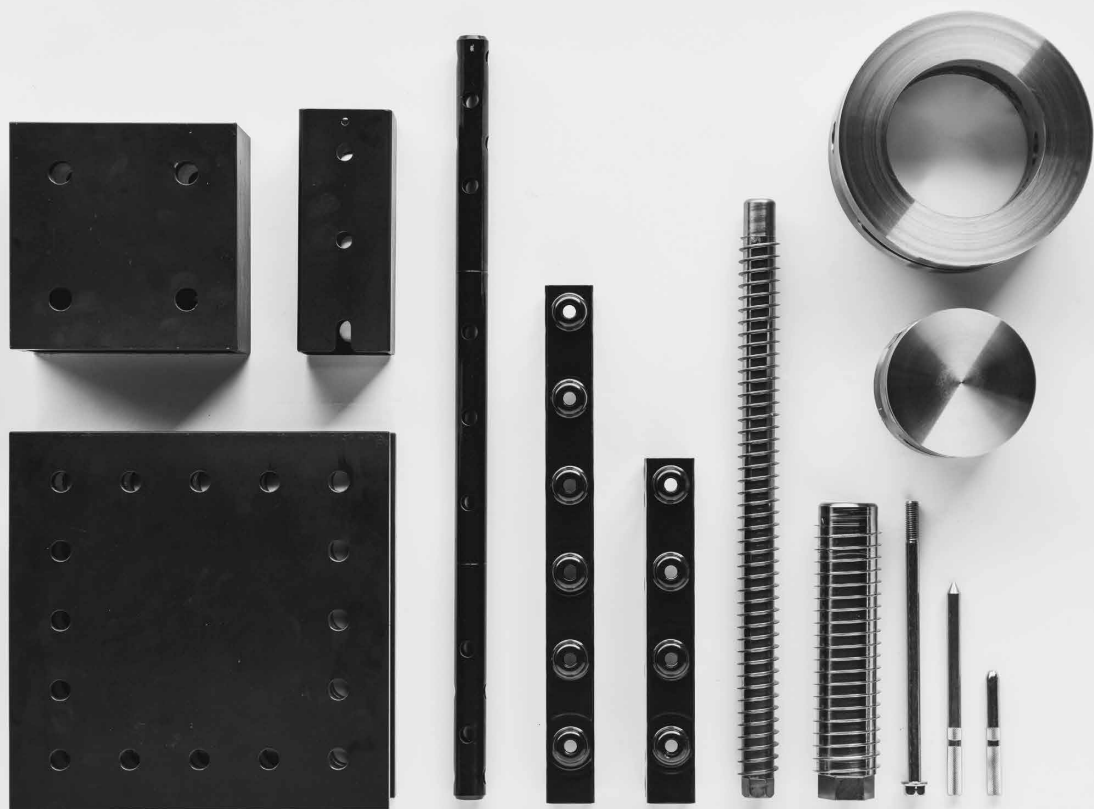
ARCHITECT

建築家

末光弘和＋末光陽子
／SUEP.

自然エネルギーを
最大限に活かす、
次世代の建材とは。

人と自然との関係を構築するSUEP.の
住まいの考え方に迫ります。



建築に美しさを。世界に優しさを。

ストローグは、多彩なコネクタにより、強く美しい木構造を実現する、「木構造エンジニアリングシステム」です。従来の木造建築では困難だった構造や意匠の実現を支援する製品とサービスを開発し、木造建築の普及と発展に貢献します。高度な木構造デザインを実現したいとき、ぜひいちどお問い合わせください。



コネクタの開発・製造・販売 | 木構造の研究・開発 | 各種サービスと情報提供
株式会社ストローグ TEL.076-471-2021 <http://stroog.com>



防球
建具
うららぎ

麗らかな風と
木もれ日を感じる建具

圧倒的な
開放感

地産木材
使用可能

全閉全開
可能

ボールからガラスを守り、ガラスから子供を守る。
「うららぎ」が、開放感と安心感あふれる空間づくりのお手伝いをさせていただきます。
子供たちが安心して元気に活動できる体育館に。
デザイン性が高く、通常の間仕切りとしてもご利用いただけます。



東工シャッター株式会社
【本 社】〒916-0062 福井県鯖江市熊田町1-100
TEL/FAX 0778-62-1855



詳細はこちら▲

常にオンリーワンでNo.1企業をめざす

折れ戸業界 No.1 シェア
「独自アイデアと技術」で業界初、日本初の物づくりに挑戦。
2014年 ロングライフデザイン賞受賞 2017年 ウッドデザイン賞受賞



This issue's CLASS1 ARCHITECT SUEP.



生い立ちのなかで、建築とどのようなつながりがありましたか？

僕の実家がガラス店を営んでおり、昔からものづくりや建築の現場が身近だったことが、今の自分に大きな影響を与えていると思います。（弘和さん）

“建材のあったらいいな”を形にするとしたら、どのようなものを創造しますか？

壁と窓の間のような、塗膜系防水素材。壁やフレームの間に塗るだけで止水でき、さらに光を通すと、建物の考え方が根本的に変わる気がします。

今後チャレンジしたいことは何ですか？

私の地元・福岡はものづくりが身近にある街なので、伝統的な技術や素材はいつも気になっています。昔ながらの技術を現代のテクノロジーで応用した、新しい素材の使い方を開発してみたいですね。（陽子さん）

末光 弘和さん HIROKAZU SUEMITSU

1976 愛媛県松山市生まれ
1999 東京大学建築学科卒業
2001 東京大学大学院修士課程修了
2001-2006 伊東豊雄建築設計事務所
2007- SUEP.
2009-2011 横浜国立大学大学院 Y-GSA 設計助手
2011- 株式会社 SUEP. 代表取締役
現在 東京理科大学大学院非常勤講師

受賞歴

2010 第8回環境・設備デザイン賞 最優秀賞（Kokage）
2011 第27回吉岡賞（地中の棲処）
2013 住まいの環境デザインアワード 2013 グランプリ（向日居）
2015 JIA 環境建築賞 優秀賞（木籠のオフィス）
2018 グッドデザイン賞 グッドデザイン金賞（淡路島の住宅）
2018 平成30年度山梨県建築文化賞 建築文化賞（清里のガラスハウス）

末光 陽子さん YOKO SUEMITSU

1974 福岡県八女市生まれ
1997 広島大学工学部第四類（建設系）卒業
1997-2003 佐藤総合計画
2003- SUEP.
2011- 株式会社 SUEP. 代表取締役
2018- 昭和女子大学非常勤講師

主な作品

我孫子の住宅 Kokage（2008）
地中の棲処（2010）
木籠のオフィス（2013）
九州芸文館アネックス1（2013）
嬉野市立塩田中学校＋嬉野市社会文化会館（2014）
淡路島の住宅（2018）
清里のガラスハウス（2018）

主役は建材。
建築家が
選りすぐりの建材を
アクティブに紹介する
建材専門誌

CLASS1 ARCHITECT

一級建築士に直接お届けするフリーマガジン

06 自然エネルギーを最大限に活かす、次世代の建材とは。

建築家 末光弘和＋末光陽子／SUEP.

清里のガラスハウス

株式会社山崎屋木工製作所 「CURATIONER」

株式会社シンコー 「カーボンコート」

株式会社地球環境技術研究所 「土舗装（プレミックスSタイプ）」

15 ARCHITECT'S Q&A

聞きたくても聞けない、建築家が出合った特別な建材を一挙ご紹介！

19 モニター建材

新製品を中心とした無料のモニター企画

22 新たな地域建材と出会う、見つける。

LOCAL 建材

建物に奥深い風合いを醸し出す漆の可能性





自然エネルギーを最大限に 活かす、次世代の建材とは。

人と自然との関係を構築する SUEP. の住まいの考え方に迫ります。

清里のグラスハウス

光射し風そよぐ、 自然と共生する別荘

山梨県・ハケ岳の南麓に位置する清里高原は、夏場でも30度を超えないことから、避暑地として有名な場所である。今回ご紹介する「清里のグラスハウス」は、2018年に完成した個人別荘。標高約1,100mの場所にある清流沿いの細長い敷地に建築された。

効率的に自然エネルギーを取り込み、少ないエネルギーで暮らすライフスタイルを提案しているSUEP。プロジェクトでは、敷地特有のポテンシャルを探ることから始まる。今回も設計にあたりSUEP.の末光氏は現地に赴き、年間の太陽や光の動き、風向きを綿密に調査。年間を通して気温は低いが日照量が多いという気候と、敷地の側を流れる小川の下流側から涼しい風が吹き込む特性を活かし、ガラス屋根の温室を持つ住宅を設計した。

屋根のガラス面に太陽が当たるのは朝から昼過ぎまで。その時間帯の光を蓄熱できるよう、温室の床は土で仕上げた土間になっている。屋根は断熱性を持つLow-eペアガラスと特注のガスケットを使用することで、取り込んだ熱が外に出ていかないような配慮もなされている。夜は冷え込むため、個室部分の建具を閉じることでコンパクトな空間に。自然のエネルギーを存分に享受しつつ、電気やガスなどのエネルギーはできるだけ少ない量で過ごせる「環境配慮型住宅」となった。

設計に際して、「清里のグラスハウスでは自然の一部として暮らす体験をしてもらいたい」と考えた末光氏。季節のうつろいを感じながら、気持ちの良い光を存分に浴び、子どもたちが裸足で駆け回る。人と自然が一体化した暮らしがここでは実現している。



清里のグラスハウス

所在地 山梨県北杜市

設計 末光 弘和 + 末光 陽子 / SUEP.

撮影 中村 絵

MATERIAL 01 CURATIONER



複雑な構造も可能にした高性能の木製サッシ

自然エネルギーを効率よく取り込む「清里のガラスハウス」では、高い断熱性が欠かせない。その役割を担っているのが、「CURATIONER」の木製サッシである。熱を逃がさないよう断面は複雑な構造となっているが、最先端のCNCルーターにより、0.01mm単位の高い精度を可能にした。「CURATIONER」の木製サッシにより、ガラスハウスでは、冬の寒い時期でも日中は自然の風と光だけで過ごし、夜はコンパクトなエネルギーを使って過ごすというライフスタイルが可能に。冬場に問題となるヒートショック対策にも効果が高いという。ほかにも地域材を使うことで山を健全な形で保つことができるなど、木製サッシがもたらすメリットは大きい。まさにSUEP.が目指す「環境配慮型住宅」とマッチした建材である。

末光さん、なぜこの建材を採用したのですか？



設計前に室内環境をシミュレーションすると、断熱性を高めることで、冬でも外気温+10度程度に高められる結果が出ました。そのため、アルミよりも断熱性が高い木製サッシを検討していたところ、この製品に出会いました。「CURATIONER」は複雑な形状にもかかわらず、非常に精度の高い製品。木の加工はアナログなイメージがありましたが、最先端の方法を採用しているところが面白いなと感じました。

山崎屋木工製作所と

01 | 独自のオーダーシステムを開発

木製サッシは既製品が多いなか、独自のオーダーシステムを採用。地域特性に合わせた窓性能を分析・比較し、年間電気料金の算出も可能に。

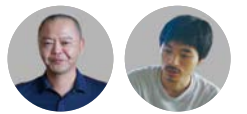
02 | 最先端CNCを導入した加工

山崎屋木工製材所では高性能CNC機を導入。0.01mm単位での数値制御を可能にしたプログラミングで、精度の高い製品を生み出している。

メーカーさんへ聞いた 建材開発秘話

お話を伺ったのは...

左：山崎 慎一郎さん
右：竹内 港さん



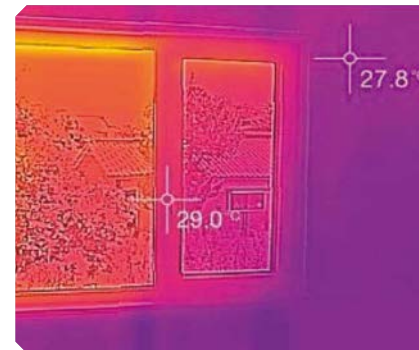
山崎屋木工製作所の技術を支える存在

当社は家具製作からスタートし、「家具・建具・キッチン」と木を使ったあらゆるプロダクトを手掛けてきました。当社の加工はすべて機械化。5軸のCNCを導入し、最先端のプログラミング・オートメーションによって、高い精度の加工を可能にしています。当社のものづくりを支えているのが、クリエイティブディレクターである竹内の存在。設計経験を持つ彼が入社したことにより、二人三脚で「CURATIONER」を開発しました。現在では構造解析からデータ入力、機械操作まで、彼が中心となって手掛けています。



木製サッシが環境にもたらす効果

木製サッシをつくるきっかけは東日本大震災。エネルギーに対する意識が変わるなか、木製サッシはアルミに比べ熱伝導率が1/2000であることを知りました。日本の住宅の多くが開口部から熱が逃げており、その部分を木製サッシにすることで、省エネルギーに貢献できると考えたのです。木を使うことで地域産業の活性化に繋がりますし、山を健全な形で保てるので、CO2の固定化や防災にも役立ちます。さらにヒートショック対策にも繋がるなど、木製サッシはさまざまな面で利点があると考えています。



木製サッシの温度計測一例

ものづくりにかけた想い

「CURATIONER」には「いろいろなものを取り入れていく」という意味が込められています。これまでさまざまなアイデアを取り入れながら時代の先を見据え、何よりも性能にこだわったものづくりを進めてきました。ものづくりに一番大切なのは「情熱」。これが無くてできることはありません。値段相当の性能しか得られないのではなく、すべての製品に絶対的な自信を持って皆さまにお届けする、その信念を軸にこれからもブレないものづくりを続けていきたいと考えています。



「CURATIONER」の特徴

03 | 妥協することなく性能を追求

製品化した後も満足することなく改良を重ねる山崎屋木工製作所。外部の評価試験を取り入れ、試行錯誤を繰り返しながら納得できる性能を追い求めている。



株式会社山崎屋木工製作所

〒387-0017
長野県千曲市中555-1
TEL/FAX 026-272-2765
<http://www.yamazakiyamokko.co.jp/>

MATERIAL 02

カーボンコート



リビングの天井と壁：カーボンコート左官仕上げ

耐久性と質感の両方を兼ね備えた塗材

「清里のグラスハウス」の居住スペースとなる個室は、壁と天井をすべてカーボンコートで仕上げている。洞窟のような風合いを出すべく、コンクリートに近い素材を複数検討しているなかで、このカーボンコートを採用した。自然素材の質感を追求しつつ、耐久性も兼ね備えた SUEP. こだわりの素材となっている。

「機械化や工業化が進むと素材は人工的で均質になっていくが、手触りやムラを表現していくことが価値に繋がる」と末光氏は語る。本来、仕上げ材を塗る時はムラが出ないように塗るのが業界の常識と言われているが、「清里のグラスハウス」ではわざとムラがでるように塗装。カーボンコートの炭素繊維は塗るたびにコテの方向に塗り目が変わるため、建物全体に独特の風合いが生まれている。

末光さん、なぜこの建材を採用したのですか？



カーボンコートのムラが気に入りましたね。ペンキやクロスはのっぺりした印象になってしまうため、これらに代わる素材をいくつも検討しました。はじめは漆喰も考えていたのですが、「より洞窟っぽい質感を表現するならこちらだね」と施主さんとも意見が一致。木との相性も良く、建物の断熱性も損なわない素材なので、とても気に入っています。

シンコーと

01 | 優れた強度と耐久性

炭素繊維と特殊粉末樹脂の配合により、耐久性が高く、ひび割れを抑制する効果があり、壁面全体の強度に優れた性能を発揮。

02 | 内装にも外装にも使用可能

水を混ぜるだけで、内装にも外装にも施工が可能な万能型の塗材に変化。コテ切れが良く乾燥も早いいため、工期の短縮が図れる。

メーカーさんへ聞いた 建材開発秘話

お話を伺ったのは …

西口 光さん



負荷がかかっても割れない素材

カーボンコートは炭素繊維を使用した塗材です。左官材料というのは継ぎ目で割れやすいという欠点があるため、石膏ボードの継ぎ目に負荷がかかっても割れにくい耐久性のある下地材として開発しました。特に漆喰は外装にも使われる材料だったので、外にも使えるよう改良。さまざまな実験を重ね、職人さんの声を取り入れながら施工のしやすさを追求しました。おかげさまで取引先の建材店からも「非常に使いやすい」という声をいただいております。

水で練るだけの下地材

外装の塗材は強度と耐水性を担保するため、粉と液体ボンドを混ぜて使うものがほとんどです。現場で調合するため、材料の入れ忘れや品質にばらつきが出ることがこれまでの課題でした。そこで、カーボンコートを外装材として使う際も、「水で練るだけ」で完成するものにしようと改良。原料の検討や、液体ボンドと同等の耐水性や強度を持つ粉末ボンドの比較試験など、約2年の歳月を重ねリニューアルしました。万能型の下地剤としてお客様からも好評をいただき、販売数も伸びています。



仕上げ材として使う新しい用途

「清里のグラスハウス」では、カーボンコートを下地材ではなく、仕上げ材として使っていただきました。我々にとっては想定外の使用方法でしたが、カーボンコートは湿式の材料をベースに作られていますので、仕上げ材として使っていただいても全く問題ありません。あえてムラを出す塗り方も、本来下地材であるカーボンコートならではの良さが出たのではないかと思います。色や仕上がり感じもコンクリートに近い風合いになるので、我々にとっても大きな発見でした。

「カーボンコート」の特徴

03 | 時代の流れに沿った技術・工法の開発

建材の製造、卸、建築・土木工事の事業を行うシンコー。現場の声をいち早く活かす開発体制があり、日々製品のアップデートを進めている。



株式会社シンコー

【本社】〒550-0015
大阪府大阪市西区南堀江 4-30-28
TEL 06-6541-5755 (代)
FAX 06-6541-8797
<http://www.shinko-kenzai.com/>

MATERIAL 03

土舗装 (プレミックスSタイプ)



土の温かみや質感を残し、暮らしに取り入れる

「清里のグラスハウス」の温室の床はすべて土仕上げ。温室は、屋外のデッキと個室部分をつなぐ中間領域であり、この土舗装によって自然と暮らしをゆるやかにつなぐ役割を果たしている。見た目は土そのものだが、固化安定処理剤「FC 剤」により固化されているため、ぼろぼろ崩れたり、舞い上がったりすることはない。真砂土・粘土・残土に FC 剤を混ぜることによって土に化学反応を起こさせ、「乾くとホコリになる」「水に溶けると泥化する」「雑草が生える」といった土のデメリットを解消しつつ、透水性、保水性、断熱性、不燃性といった土の特性や風合いを残すことを可能にしている。FC 剤による舗装は「リ・アース工法」と呼ばれており、建築、土木などさまざまなシーンで活用されている。

末光さん、なぜこの建材を採用したのですか？



温室の床部分は、蓄熱性がある土素材を考えていました。しかし、土そのものを使うと、風が吹くと飛んでしまったり、歩いているうちに削れてしまいます。いくつかの素材から探したのですが、のべっとしてたり硬質な感じだったりするものが多いなか、プレミックス S タイプはある程度固めてあり、性能が保てることとナチュラルな風合いが決め手でした。

地球環境技術研究所と

01 | 人間と地球環境との共存

自然と共存し循環する社会を目指す地球環境技術研究所。人間が暮らしやすく、地球環境の本来あるべき姿の実現に向けて、土舗装に関する研究開発を進めている。

02 | 土の性能を安定させる独自の FC 剤

FC 剤とは、セメント類などの水和反応を活性化し結晶を生成するもの。土舗装に使用することで、土の性能を安定させ、セメント以上の強度や耐久性を実現できる。

メーカーさんへ聞いた 建材開発秘話

お話を伺ったのは …

藤 良和 さん



独学で開発した FC 剤

セメントの寿命は長くて 70 年と言われており、耐久性や品質などまだまだ研究する余地があると、独学で学び始めました。同じ石灰岩でも鍾乳石は自然界で何百年何千年と成長していく、この違いは何かと研究したところ、石が何万年という時間をかけて膨張収縮し土になる過程で無機イオン成分が流出し、水によって石灰岩が溶けて炭素反応を起こすことを発見。これが FC 剤開発のきっかけとなりました。FC 剤を土舗装に用いることで、汚染された土壌を封じ込められるなど、環境問題にも貢献しています。



FC 剤（無機固定安定剤）

土舗装が環境に及ぼす影響

コンクリート舗装の多い都市部では、大雨が降ると水浸しになる様子が多々見られますが、「リ・アース工法」の土舗装は透水性や耐久性が高く、ヒートアイランド現象を防ぐなど、温暖化対策にも効果を発揮します。また、雨水が土に染み込むことでミネラル分を含み、河川に流れた後も生き物の生態に負荷をかけないため、地球規模で良い循環を生み出しています。設立当初は「環境問題で飯を食うなんて夢のような話だ」と笑われたものですが、ここ 10 年くらいでやっと認知されてきたように感じています。



国内・海外で広げたい土舗装の可能性

今後私たちがやりたいことは、その地域にある土を利用した地産地消の土舗装を世界規模で進めていくこと。日本だけでなく同じような悩みを持つ地域で土舗装を取り入れることにより、ひとつの産業として成り立たせたいと考えています。また、本来は捨てられるはずの建設発生土などを使って建築・土木資材を作り、社会規模でローコスト化を進めていきたいですね。これからも土という自然にあるものを活かし、環境にやさしい素材や技術を開発していきたいと思っています。



「プレミックス S タイプ」の特徴

03 | 土舗装のデメリットを解消する

FC 剤を用いた「リ・アース工法」は、劣化・泥化などのデメリットを解消した土舗装。FC 剤の無機塩基イオンの操作により 20 年以上経っても雑草が生えにくい効果が出ている。



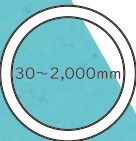
株式会社地球環境技術研究所

〒577-0011
大阪府東大阪市荒本北 3 丁目 3-14
TEL 06-6747-9126
FAX 06-6747-9127
<http://www.chikyu-kankyou.com/about.html/>



Clear!

軽やかで、なめらか。
そして、驚くほど透明な
アクリルパイプ。



最高級の透明度、国内最大外径2,000mmまでのオーダーに対応。

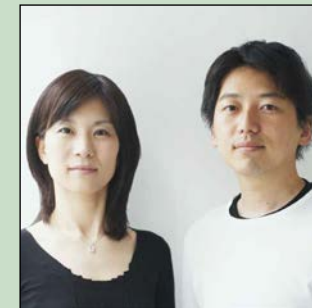
建材情報とネット販売
CLASS1
SELECT

販売元: OOKABE GLASS HD株式会社
0120-58-0151
担当: 伊井・意元・橋本



<https://class1.jp/>
(会員登録必要)

ARCHITECT'S Q&A



SUEP. が選ぶ5つの建材

あの建築家はどんな建材を使って、どんな価値観を持っているのだろうか？
そんな、聞きたくても聞けない“ここだけの話”
建築家がテーマに沿って特別に語ってくれました。

Q1 空間が引き立つデザイン建材とは？

A 透かしレンガ積み



※イメージ

株式会社国代耐火工業所
[営業本部]
〒106-0045
東京都港区麻布十番 2-14-11
TEL 03-5484-9246
FAX 03-5484-4188



均質化しがちな街の景色に 素材感を加える



透かしレンガ積みは、前から使いたいと思っていた建材。日射を遮り建物に奥深さを出ることができるため、現在計画中の集合住宅では、ファサードをレンガで格子状に積み上げようと検討しています。国代耐火さんの別の製品は、以前別のプロジェクトで使わせていただきましたが、数あるレンガメーカーのなかでもラインナップが多く、並べた時のムラが際立っていました。素材感にこだわっていた建物だったので、レンガの焼きムラも指定させていただくなど、細かい部分にも対応していただき、良い仕上がりになったと思います。私たちは普段から自分たちの建てるものが、街のなかでどういう見え方をするのかを意識しています。特に東日本大震災以降は急ピッチで復興が進む一方、似通った街の風景が増えてきました。均質化しがちな風景に抵抗するのも建築家の重要な役割。だからこそムラや素材感を大切にしたいと考えています。

Q2 今までで最も思い出深い建材とは？

A 淡路瓦



野水瓦産業株式会社
【生産部・工場】
〒656-0332
兵庫県南あわじ市湊新島1337
TEL 0799-36-2180
FAX 0799-36-2182



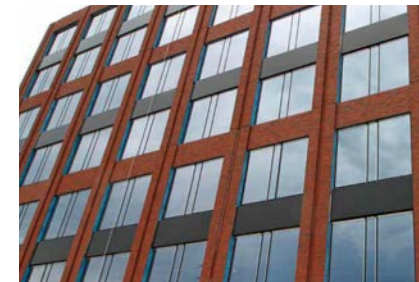
伝統技術と最先端技術を組み合わせる



2018年に竣工した「淡路島の住宅」は、約3,000枚の淡路瓦を使っています。瓦の特殊な形状によって夏は80%を影に、冬は逆に60%くらい日射を通し、安定した熱環境を可能にしました。瓦は私たちがコンピューターでデザインしたものをもとに、職人さんたちが数種類のプロトタイプを作成。取り付け方法を検討し、特注の押し出し口金や金型を製作いただくなど、特殊な専用設備を持つ野水瓦さんだからこそ、精度の高い瓦が生まれたと思います。淡路瓦は三州瓦、石州瓦と並ぶ日本三大瓦の一つ。土が良く、400年にわたる瓦の技術と私たちのデジタルシミュレーションによるコラボレーションが面白かったです。アナログとデジタルが交差するところに、最先端がある。日本の伝統技術に違う形で光を当てることができればと考えています。

Q4 これから挑戦したい注目建材とは？

A 海外製の高性能 Low-e ガラス



K2 Japan LLC Viracon
【日本総代理店】
〒225-0014 神奈川県横浜市
青葉区荏田西5-12-2
esakak2japan@gmail.com
(担当：江坂)



性能・デザインを追求した海外製のガラス



Low-e ガラス自体はこれまで何度も使用していますが、国内の製品は性能を求めるがゆえに、デザインが二の次になっているものが多いと感じています。海外のガラスは日本の製品に比べてデザイン性が高く、高性能な上に低価格。過去に海外製のガラスを使おうと仕入先を探しましたが、国内の基準や法規などの問題から、日本の流通では省かれている現状を知りました。今回ご紹介したアメリカのガラスメーカー、VIRACON もいつか使いたいと思っている製品のひとつ。今後、海外の市場が開かれていくと、日本の窓の性能は格段に上がるはずです。国内外のさまざまなメーカーが切磋琢磨することで、住環境がさらに向上する社会になってほしいという意味を込めて、この製品を挙げました。

Q3 おすすめのエコ建材とは？

A 藓苔基盤庭



小田建設株式会社
〒759-3622
山口県阿武郡阿武町大字奈古
2856-5
TEL 08388-2-2520 (代)
FAX 08388-2-2522



自然エネルギーを取り入れ涼しい家に



藓苔基盤庭はセラミック素材のパネルで、本来は屋上緑化などに使われるもの。福岡の住宅「葉陰の段床」ではテラス部分のルーバーに使用しました。藓苔基盤庭のルーバーは極めて保水性が高く、水をミスト状に散水する事で自然冷房効果を持ち、太陽の熱にあたると気化冷却して打ち水のような効果があります。セラミック素材のパネルは側面の仕上がり粉っぽいものやボロボロと崩れやすいものが多いのですが、藓苔基盤庭は耐久性が高いのもよかったですね。この住宅がある九州は夏になると夕立が多いのですが、このルーバーのおかげで雨水を貯め、涼しいエネルギーに変換することができます。自然にある保水機能や浄化機能を暮らしの周りでも取り入れられる優秀な製品なので、とてもおすすめです。



Q5 技術と素材が活かされた機能建材とは？

A アルミキャスト(アルミ鋳物)



※イメージ
事業主：NTT 都市開発株式会社
設 計：株式会社日建設計 + 株式会社 SUEP.



株式会社ミック
【本社工場】
〒899-1912
宮崎県北諸県郡三股町
宮村2810番地
TEL 0986-51-2056

鋳物の技術でオリジナルの製品づくりが可能に



現在、福岡で建設中のホテルで使っている建材です。ホテルの敷地は公園に面した場所にあり、景観に馴染むようアルミキャストのファサードに植物を這わせて、壁面緑化を考えています。植物は少しずつ伸びるよう、ファサードに沿って灌水するのですが、素材がアルミなので、水を流すことにより建物表面の温度が低下。さらに冷やされた空気がドラフト効果によって、公園に流れていく作用もあります。アルミキャストは型さえ作ってしまえば、完全なオリジナル製品ができるところが面白いですね。特にミックさんは鋳造技術はもちろん、デザインやテクスチャーの表現に至るまで精度が高い。3Dプリンターなどデジタルな技術の進歩により、今後さらにアルミキャストの可能性が広がると思います。

足元から、木の趣を感じる

自然な木目や色合い

表面に無垢材を使用しています。また UV 塗装のため、傷や汚れがつきにくく、ワックスを塗る必要がありません。施工はワンタッチで、簡単に行えるため、工期が短い店舗でのご使用がおすすめです。



ワンタッチで
簡単施工

天然の
素材感

傷や汚れが
つきにくい

新製品



オークハイブリッドソック
UVブラッシュドクッション付き

新製品



オークハイブリッドアジェ
UVブラッシュドクッション付き

アイオーシー株式会社

〒461-0004 名古屋市東区葵 1-6-7 大昌ビル 302
<https://www.iocjapan.biz/>

お問い合わせ・ご相談はこちらからご連絡ください

TEL:052-931-3337

【営業時間】月～金曜日 8:30～17:00

詳しくはこちら▶



モニター 建材

Vol.04

新製品を中心とした 無料の建材モニター企画

ご応募いただいた方の中から、
抽選で製品をモニタープレゼントいたします。
応募からはじまる新たな繋がりに乞うご期待！

- 01 栗田煙草苗育布製造株式会社 / KT 吸音材
- 02 栗田煙草苗育布製造株式会社 / 紗鞆紙
- 03 株式会社川島織物セルコン / おきピタッと

モニター建材の最新情報を更新中

Web サイトでは、さらに詳しく建材について紹介しています。是非ご覧ください。

<https://moniken.class1.jp/>

CLASS1 ARCHITECT

検索



01



特許取得の吸音内装材 KT 吸音材

有機材料を三層に重ねた吸音内装材。軽量でクッション性があり、見た目・質感ともに一般的な吸音材にはない温かみがあります。オーディオルームや、工場・商業施設などの騒音対策におすすめ。

吸音材

1名様あたり6㎡

KT-Pタイプ3㎡ + KT-Qタイプ3㎡

- ※ KT-Pタイプ（全8色）／低い音をより吸収
- ※ KT-Qタイプ（全2色）／高い音をより吸収
- ※ 他の色はQRコードをご覧ください。



栗田建草苗育布製造株式会社
Kurihara Shousaku Mokuikobu Seisakusha Co., Ltd.

ご応募はこちら



02



紙と織物のハイブリッド障子紙 紗靱紙

紗（しゃ）と呼ばれる織物と和紙を特殊技術で複合させた障子紙。織物の持つ強靱さにより、お子様が指でつついた程度では破れることはありません。障子のメンテナンスを楽にしたい方へ。

障子紙

- ・ KT33 / 巾950mm × 長さ5m
- ・ KT66 / 巾950mm × 長さ5m（2タイプ1セット）

※ 数字の大きさは、紗織物の目の大きさです。



栗田建草苗育布製造株式会社
Kurihara Shousaku Mokuikobu Seisakusha Co., Ltd.

ご応募はこちら



03



接着剤いらずで そのまま貼れるDIY床材 おきピタッと

裏面に糊がついた、貼ってはがせるDIY用ビニル床タイル。簡単にズレることがなく、表面に保護層があるため傷にも強いのが特徴。4色のカラーバリエーションからお選びいただけます。

床材

1名様あたり約20㎡まで



KAWASHIMA SELKON

ご応募はこちら



施工事例

Vol.02 掲載製品

製品詳細はこちら

使用製品
ZIPrail® Screen
当選者：建築士O様



当選者O様コメント

ZIPrail® Screen はシンプルなデザインを好み、部屋をすっきりさせたい方にピッタリの製品ではないかと思います。スクリーンの下部に適度な重りが入っていて、風が吹き込んでもめくれあがりたらないのも魅力です。とても気に入っているため、他の場所への取り付けも検討しています。

編集部コメント

O様のお宅は間仕切り等の少ない開放的な設計なのですが、それゆえ冬は部屋が温まらないことがお悩みだったそう。ZIPrail® Screenを取り付けたことでエアコンの効きも良くなり、非常にご満足いただけたようです！O様、素敵な写真とレビューをありがとうございました！

モニター建材の流れ

応募
締切

2020年1月31日（金）

応募者の中から厳正な抽選のうえ、ご当選者には編集部よりお電話またはメールにてご連絡させていただきます。
※ 当選に関するお問合せにはお答えできませんのでご了承ください。

STEP 1
QRコード からご応募



STEP 2
当選通知 来る



STEP 3
製品 が届く



STEP 4
モニター開始



STEP 5
レビュー・写真 を送信





建物に奥深い風合いを醸し出す漆の可能性

錦古里漆器店 錦古里 正孝



漆（越前漆器）



Vol.04 福井県

越前漆器は鯖江市の三大地場産業の一つで、特に河和田地区において盛んである。「漆」を原料とした椀・膳・重箱等は、古典的な優雅さと堅牢性を持ち、海外でも親しまれている。

古くから建築に使われていた漆

錦古里漆器店は、祖父の代から100年ほどの歴史を持つ「漆塗りの工房」です。鯖江市河和田地区は、1500年以上の歴史を持つ越前漆器の産地。我々は漆器の工程の中でも「上塗り」を行っており、東京・大阪・京都などの料亭で使われるお椀や膳の塗りや修繕などを手掛けています。

漆は約5000年前から使われている天然の樹脂で、古くから建築塗料にも使われていたようです。特に漆器産地では、昔から家の柱や建具に漆を使うことが多く、漆塗りの大黒柱や長押などが見られました。私も仲間の塗師たちと、新築の家の柱に漆を塗りに行ったことがありましたね。漆塗りの柱は経年とともに木目の美しさが引き立ち、独特の艶が楽しめます。最近では和風の家自体が減っていることもあり、漆の出番が少なくなっているのですが、2019年4月に完成した複合施設「TOURISTORE」では、店内のさまざまな部分に漆塗りが施されています。

金属のような質感も可能

「TOURISTORE」は我々の工房とデザイン事務所、観光案内所などを合わせた複合施設。建物には地場の素材である「漆」を活かそうと、まずは工房の木の壁一面を漆で塗ることにしました。広い範囲なので、場所によって乾き具合に1週間～10日も差が出てしまい、状態を確かめながら塗り重ねていくことが難しかったですね。驚いたのは、MDF合板（木質繊維の成形板）と漆の相性。漆を塗り重ねる度に木質繊維が漆を吸い込み、とても独特な風合いになったのです。漆を塗ったMDF合板のレジカウンターは店内でも存在感があり、来店されたお客様から「この素材は金属ですか？」と言われたこともありました。



新素材とのコラボで広がる可能性

今回をきっかけに、建材塗料としての漆の可能性を感じました。漆は紫外線に弱いため、屋外での使用は難しいですが、身近に取り入れる方法はまだまだあるはずです。また、昔と違い、今はさまざまな建材が開発されているので、漆との組み合わせにより想像もしない質感が生まれることも。工房では漆塗り体験を行っていますが、最近は「陶器や楽器に塗ってみたい」と言われる方もいらっしゃいます。漆の良さは、どんな塗料にも出せない奥深い艶。新しい素材とのコラボレーションにも挑戦するなど、これからも漆の可能性を追求していきたいですね。

錦古里 正孝
MASATAKA KINKORI

昭和28年生まれ。祖父の代から90年以上続く錦古里漆器店3代目。下地から上塗りまで100%漆を使った高品質なもののづくりを行っている。



錦古里漆器店

〒916-1222
福井県鯖江市河和田町19-8
TEL 0778-65-2233

〃知る・試す・比べる・買う〃をひとつに

「CLASS1 ARCHITECT」が スマホ専用サイト になりました。

会員登録無料！
詳しくはこちら▶



SPECIAL THANKS

Architect

末光弘和+末光陽子／SUEP. 様

Manufacturer

株式会社山崎屋木工製作所 様

株式会社シンコー 様

株式会社 地球環境技術研究所 様

株式会社 国代耐火工業所 様

野水瓦産業株式会社 様

小田建設株式会社 様

（販売：株式会社八木萬 様）

K2 Japan LLC Viracon 様

株式会社ミック 様

錦古里漆器店 様

Architecture

清里のグラスハウス

Photo

中村 絵 様（表紙／P5／P6～7／P10／P12／P16上）

阿野 太一 様（P16下）

CREDIT

発行	OOKABE Creations 株式会社
発行人	大壁 勝洋
ディレクション	早川 祐美・岩崎 祐輔
取材・文	石原 藍
編集	嶋田 明莉・坪井 千晶
デザイン	吉鶴 かのこ・山本 実紗・勝木 遥菜・伊藤 周平

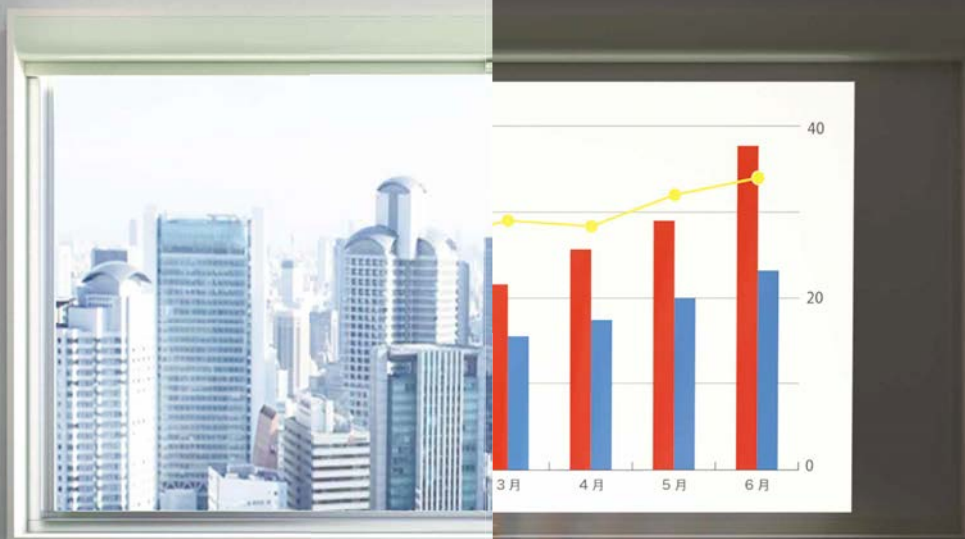
【編集後記】

今回の建築家は、人と自然が共生する有機的建築をデザインするSUEP. さま^^
今号では、そんなSUEP. さまの個性が伝わる使用建材が盛りだくさん！思わず応援したくなるメーカーさまばかりでした。同時に、近年多発している自然災害のニュースに触れるたびに、建材を通じて何か出来る事が無いか考える事が多くなりました。CLASS1 ARCHITECT では引き続き、出演頂いた建築家及びメーカーさまを応援させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

NEXT CLASS1

Vol.04 のゲスト SUEP. 様がバトンを繋いだ著名建築家に、特別な建材をご紹介します。
次号もお楽しみに！ Vol.05 2020 年春頃 発行予定

各メーカー様へのお問い合わせの際には「CLASS1 ARCHITECT を見た」とお伝えくださるとスムーズです



窓を活かす

特許取得済



完全遮光



後付可能



電動対応
(オプション)

完全遮光 窓用スクリーン
CINEMA WINDOW
シネマウインドウ

建材情報とネット販売
**CLASS1
SELECT**

販売元: OOKABE GLASS HD 株式会社

 **0120-58-0151**

担当: 伊井・意元・橋本



<https://class1.jp/>
(会員登録必要)